

**2025年度総会のお知らせ！** 会 場 大阪ガーデンパレス  
 〒532-0004  
 大阪市淀川区西宮原1丁目3番35号  
 TEL(06)6396-6211

〈発行責任者〉和田 安生 〈電話番号〉06-6349-9120  
 〈編集長〉松尾 信 〈ファックス〉06-6349-9121  
 〈発行所〉〒566-0045 摂津市南別府町8-40  
 (株)カトー精工内  
<http://www.kansai-shiwasukai.club/>



## 若手・女性会員の躍進が大いに進む！

会長 和田 安生（大学24回）

皆さんこんにちは、関西四極会  
 会長として2期目に入りました。

所信を述べさせていただきますと思います。

### 【この一年間の成果】

昨年の関西四極会報第28号で五つの計画を挙げましたので、今回はその達成状態について述べたいと思います。まず、五つの計画とは次のものでした。

- (一)若手会員交流懇親会の実施
- (二)電話掛け作戦による所在確認、総会参加呼びかけ
- (三)他学部卒業生への呼びかけ
- (四)新卒業生への呼びかけ
- (五)女性の活躍化

このうち、(二)は2ページ以降に詳細な報告がありますので、そちらに譲ります。

(三)は全く進んでいません。1年間活動してみても、あれこれ手を広げるよりは、まずは若手会員・女性会員の活性化を最重点にしたいと思うようになりました。今後の課題にしたいと思います。

(四)は四極会本部に負うところが大きいです。令和7年春の卒業生から、住所、電話番号だけでなく、メールアドレスも取得する計画が進んでいます。うまくいけば、今後の新会員の把握が格段に進むと期待されます。

(一)と(五)は結果的に重複した活動になりますので、少し詳しくお話しします。どのような組織でも中年男性ばかりでは、どうしても雰囲気は固くなりがちです。若手・女性が多く加わることで自由な発想が出てくると思います。

女性の躍進について言えば、最近「ガラスの天井」という言葉を聞きます。女性が組織のトップになれない、あるいは女性幹部の数が少ないという意味に使われるようです。

しかし、四極会にはそんな天井はありません。現に副会長兼大分支部長の高野浩子さん(大34回)、常任理事兼大分大学支部長で母校教授の渡邊博子さん(大36回)のお二方がいらっしゃいます。渡邊さんは令和6年の総会にご招待しましたので、ご存じの方もいらっしゃるでしょう。高野さんは令和7年の総会にご招待予定です。その時に桃優会(四極会の女性部会)会長としてのお話しも伺えると思います。

以前から関西四極会総会に参加されている女性会員は2名いらっしゃいます。令和6年4月の総会に初参加した女性会員は5名です。さらに8月の「若手&女性会員交流懇親会」に2名の方が初参加されました。これで女性会員は総勢9名となりました。今後さらに声掛けを行い新しい方々に参加いただければ、と大いに期待しています。

男性若手会員についても同様に、総会・交流懇親会を通じて2名の初参加の方がいます。



### 【今後の活動】

話は飛びますが、大分県大阪事務所主催で「大分県関係県人会情報交換会」という会合があります。

大分県の各学校の同窓会や各市町村出身者の会の代表者が年一回集まって、それぞれの会での取り組みや問題点などの情報交換を行っています。関西四極会代表としては、私が毎年出席しています。

そこでも『参加者が年々減っている、若手の参加が少ない』との悩みを抱えています。しかし活路を見いだそうと次のような工夫もしています。

- ・複数の同窓会又は町村会の合併。合併することで参加者が増え、活気も出てきます。
- ・50才台～60才台の現役をそろそろ引退する「同窓会世代」への呼びかけ。転勤がつきものの若い世代よりも、定着率が高い。

本会も、まだまだ工夫の余地があるでしょう。積極的に会員への呼びかけを行い、魅力的な総会、若手・女性会員が気軽に参加できる交流懇親会等の開催を通じて、老年・壮年・青年の各世代が集う場にしていく所存です。

## ＜特集＞ 関西四極会役員全員による声掛け運動実施報告

# “関西四極会の底力！総会参加 70 名への挑戦”

## — 汗と涙の奮闘記 —

(声掛け運動事務局) 和田安生会長 松尾信事務局長 藤野敬三推進幹事

### 1. 関西四極会とは？

関西四極会は544名の会員がいます。全国の約5%にあたります。卒業生同士のつながり＝絆を強めるため、総会、ゴルフの例会、囲碁の例会、名所旧跡を巡る散策会、時には若手会、女子部会、またセミナーの開催、会報の発行などの活動を展開しています。

特に重きをおいているのは年1回開催する総会です。全会員に約500部の案内状を発送しています。その中に出欠確認の返信用はがきも同封されています。

### ＜ここで問題です＞

### 2. 返信用はがきは何通帰ってくると思われますか？

事務局に返事を聞きますと返信は150通位だそうです。これって「350名は案内状を見てないの」と言いたくなります。表面だけ見て廃棄するという流れなのではないでしょうか。これはおかしいですね。これは貴重な情報を自らが放棄しているのと同じです。同窓会にはおいしい情報が満載です。情報社会に生きている我々が活用しない手はないと思います。

### ＜少し掘り下げてみます＞

### 3. 関西四極会は卒業年次別にはどういう構成？

電話番号登録の442名を卒業年次別グラフ(別紙1)で調べてみますと以下のことがわかります。

＜特長＞シンガポールのマーライオンの形

- ① 71才以上、大学23回以上が構成比54%  
70才以下、大学24回以下が構成比46%
- ② 女性が全員で58名(構成比13%)
- ③ 30才以下、大学64回以下では女性は13名、構成比(39%)と急速に拡大

グラフから、関西四極会は、71才以上の会員によって支えられている点に分かります。また70才以下の会員は、年4～5人程度の増加にとどまっており、あと20年もすれば、関西四極会の規模は縮小し、今のよう活動も縮小されていくことが想像されます。希望は女性会員が着実に増加し、今後の戦力強化に繋がると予想される点です。

参考に、総会参加者別に見ますと、出席者の70%は23回以上、24回以下は30%に過ぎません。

### ＜ここで課題が3つ浮き彫りになってきました＞

課題1は、24回～71回(70才～23才)までの参加が少ない点。

課題2は、女性の会員数は58名、構成比では13%を占めています。この女性会員の参加が少ないという点。

課題3は、特に20代の会員、30代の会員の参加が皆無であるという点。

これら課題に対しどう対応していくかが今後の活動の重要なポイントになります。＜年次別会員グラフ参照＞

＜さて、案内状の話に戻りますが、経済学を学んだものとしてコストを計りたくなります＞

### 4. 案内状のコストはいくら？

案内状には、①案内 ②関西四極会会報 ③本都会報の「四極」④返信用はがきが入っています。これに送料を加えるとざっと案内状の郵送には合計983円かかります。これは私の推定にすぎませんが、1部作るのにほぼ1,000円ほどかかっていることになります。

そのうち350部が読まれてないとしますと、350名×1,000円=350,000円は捨てられていることになります。英知のつまった情報がみすみす捨てられているのは忍びないですね。

### 5. 若手会員の増加策は？ 若手会員の意見は？

2023年6月16日(金)に若手有志5名と懇談。

「今の若者へは、Lineの活用、QRコードの活用、ホームページの活用が有効」との提案がありました。

さてそれをどう現実の活動に落とし込むか。ITプロの田崎隆徳さん(大32回)の知恵を借りながら進めました。



### 6. 提案の実践で手応え

- ① 若手有志懇談会を9月1日(金)スーパードライ梅田1階で開催しました。12名中1名から返信。



若手有志懇談会



返信のこない会員には電話で声掛けをしました  
が、ほとんどが留守電ないし不通でした。この時  
の参加者は6名です。若手として神足敦也さん  
(大71回)と山内彩さん(大57回)が参加しました。

② 若手会員交流懇談会を2024年2月3日(土)ニュー  
ートーキョー第1生命ビル店で開催しました。

この時は2名の新しい参加者が有りました。

木崎亜由美さん(大57回)と葛原美咲さん(大57  
回)です。木崎さんは東京の友達から東京の若手  
会のニュースを聞き関西でもないかなと探してい  
たそうです。この時は参加者8名となり、大変盛  
り上がりしました。



若手会員交流懇親会



＜そしていよいよ関西四極会の本丸である＞

7. 総会への取組・声掛け運動の開始です！

昨年12月の幹事会で作戦を説明し、内容を検討しま  
した。



2月初旬総会案内状を発送、2月20日より声掛け運  
動開始。案内状には、南草以久恵さん(大40回)のPR  
文もつけて発送、声掛け運動は、和田会長の要望によ  
り「所在確認運動」というネーミングでスタートしま  
した。

＜声掛け運動参加役員＞（敬称略）

東方 匡輔、小川清一郎、鍵本 明、長谷川浩二、  
矢野 眞治、原 國俊、野中 千尋、吉村鉄太郎、  
大石 哲史、河野 博文、辻 次郎、平野 和彦、  
小玉 稔、松本 均、水野 豊、小俣 秀記、  
後藤 寛、児玉 幸寿、佐藤 敏明、田崎 隆徳、  
佐藤 浩己、小野 正輝、南草以久恵、和田 安生、  
松尾 信、藤野 敬三 計26名



声掛けは26名の役員の皆様により行われました。

年次別に10名迄を基本として担当し総会の案内を行  
いました。役員の皆様には大変なご負担になったと思  
います。厚く感謝申し上げます。

電話の応対は、悲喜こもごもでした。

1. 何回も電話すれども通じない。不通の問題。
2. 留守電。電話が通じたが家族へ伝言、中には電話  
の途中で「電話を切れ」と言われたこと。
3. 多い方で16回電話を掛けた方が有りました。
4. 電話に恐縮し今年は無理ですが来年は出ます。
5. 関西地方が実家の人が約1割いました(若手)。
6. 家族の対応は優しく丁寧で好意的でした。



4月7日、ついに全員の報告が完結。

結果を、電話所在確認運動進捗表でまとめました。  
(別紙2)



70才以下の159名の会員全員に声掛けを行いました。

結果は総会参加者は70名に拡大しました。前年は57  
名でした。

新規参加者が9名、そのうち女性が5名と過去最大  
の成果ができました。

参加役員の皆様の汗と涙の結晶の偉大な成果です。

「役員の皆さんのパワーは凄い！四極会の同窓生は  
凄い！」と実感させていただきました。

＜問題点も出てきました。＞

1. 案内状を見ていない人が66%
2. 電話を何回かけても不通の方や返信も来ない方が  
40%もいます。これに対する対応です。

この解決には報告書を活用し、より効率的な対応を  
考えています。



初参加の若手女性会員5名、総会は華やかになりました

同窓会活動は、昔を懐かしむだけでなく、今を確認  
する、そして会員との交流を通じ人間としての幅を広  
げていく、また芸能、スポーツ、文化活動を通じ教養  
豊かな人間作りを図るなど、同じ釜の飯を食べたもの  
の同士が互いに研鑽できるいい場所です。関西四極会  
は会員の皆様のお声を聞きながらいろいろな活動を展開  
し、強い絆づくりを図ってまいります。

(大22回 藤野敬三記)

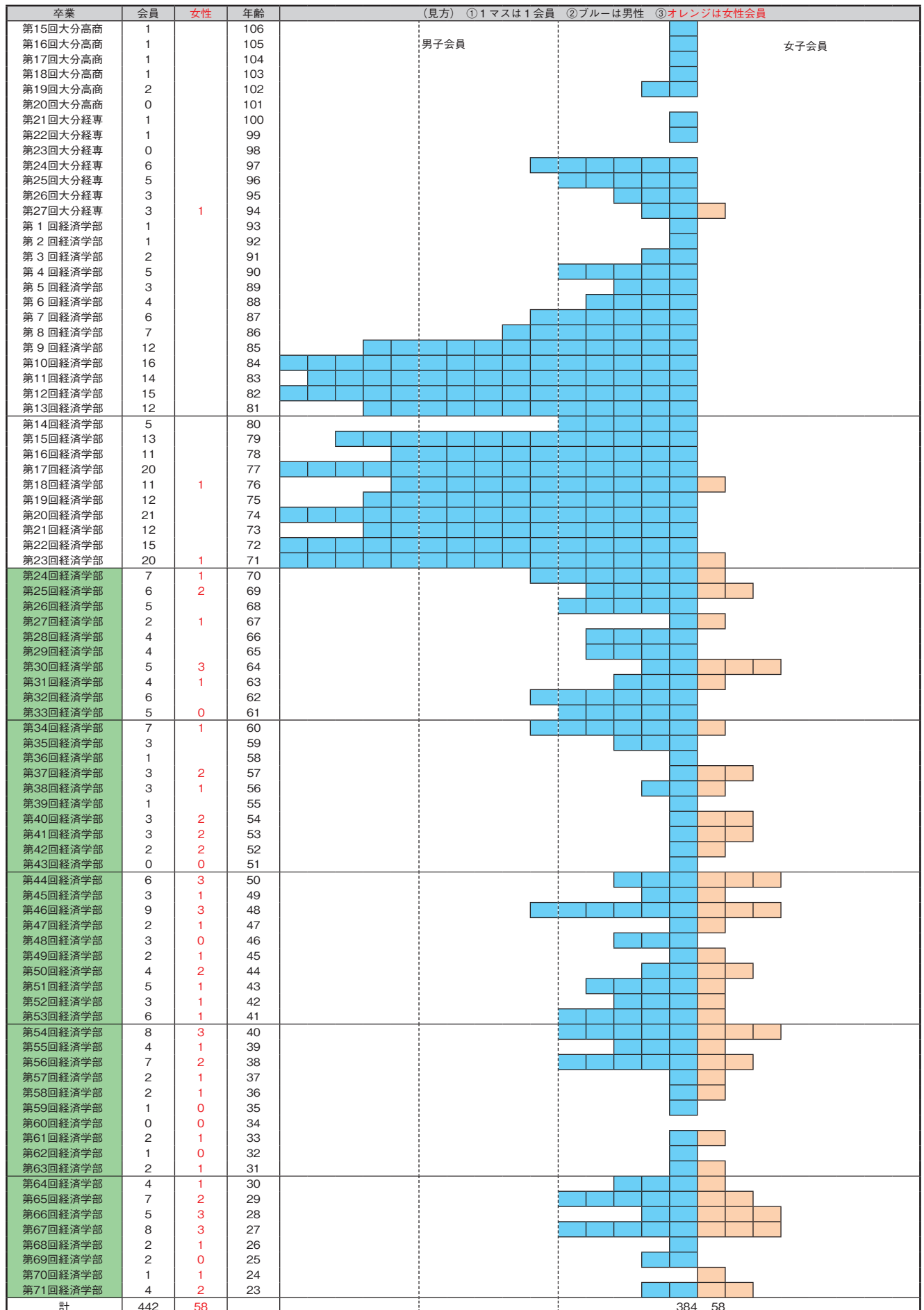


# 関西四極会会員・卒業年次別グラフ

別紙 1

対象：電話登録会員

(2020 年 12 月の会員名簿より)





# 電話所在確認運動進捗表

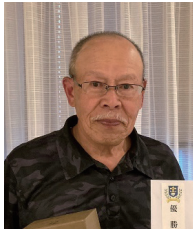
別紙 2

(2024.4.10)

|     | 関西地区 | その他地区 | 不通       | 開封 | 未開封 | 総会参加 | 会費連絡 | 新参加者       | 来年出席予定者   |
|-----|------|-------|----------|----|-----|------|------|------------|-----------|
|     | (通話) | (転勤)  | (留守電・不通) |    |     |      |      |            |           |
| 24回 | 3    |       | 4        | 2  | 5   | 1    | 1    |            |           |
| 25回 | 3    | 1     | 2        | 2  | 4   | 1    | 2    |            |           |
| 26回 | 5    |       |          | 2  | 3   | 1    | 4    |            |           |
| 27回 | 1    |       |          | 0  | 1   | 0    | 1    |            |           |
| 28回 | 1    |       | 3        | 1  |     | 0    | 0    |            |           |
| 29回 | 2    |       | 1        | 2  | 1   | 0    | 1    |            |           |
| 30回 | 3    |       | 1        | 3  |     | 0    | 3    |            | 中野真佐子     |
| 31回 | 3    | 1     | 1        | 3  | 2   | 0    | 2    |            |           |
| 32回 | 2    |       | 2        | 1  | 1   | 0    | 0    |            |           |
| 33回 | 4    |       |          | 4  |     | 0    | 4    |            | 大久保・吉良・渡辺 |
| 34回 | 6    |       |          | 2  | 3   | 1    | 4    | 山根通宏       |           |
| 35回 | 1    |       | 1        | 1  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 36回 | 0    |       | 1        | 0  | 1   | 0    | 0    |            |           |
| 37回 | 1    |       | 2        | 1  | 0   | 0    | 1    |            | 小原貴子      |
| 38回 | 1    |       | 1        | 0  | 0   | 0    | 1    |            |           |
| 39回 | 0    | 0     | 0        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 40回 | 1    |       |          | 1  |     | 0    | 0    |            |           |
| 41回 | 2    |       | 1        | 0  | 0   | 1    | 0    | 松田 淳       |           |
| 42回 |      |       | 1        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 44回 | 4    |       | 2        | 0  | 6   | 0    | 0    |            |           |
| 45回 | 1    |       | 2        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 46回 | 5    | 3     | 1        | 3  | 6   | 0    | 2    |            | 山中紀子      |
| 47回 |      | 1     |          |    | 1   | 0    | 0    |            |           |
| 48回 |      | 2     | 1        |    | 3   | 0    | 0    |            |           |
| 49回 | 1    |       | 1        | 1  | 1   | 0    | 1    |            |           |
| 50回 | 3    |       | 1        |    | 3   | 0    | 0    |            |           |
| 51回 | 2    | 1     | 1        | 0  | 4   | 1    | 2    | 中澤英孝       |           |
| 52回 |      | 1     | 2        | 0  | 3   | 0    | 0    |            |           |
| 53回 | 3    | 3     |          | 0  | 6   | 0    | 0    |            |           |
| 54回 | 3    |       | 5        | 2  | 6   | 0    | 0    |            |           |
| 55回 | 1    |       | 2        | 0  | 1   | 0    | 0    |            |           |
| 56回 | 1    |       | 5        | 0  | 6   | 0    | 0    |            |           |
| 57回 | 3    |       | 0        | 2  | 1   | 2    | 2    | 木崎亜由美・葛原美咲 |           |
| 58回 | 2    |       |          | 1  | 1   | 1    | 0    | 宇都宮綾子      |           |
| 59回 | 1    |       |          | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 61回 | 2    |       | 2        | 2  | 0   | 2    | 2    | 高倉慎平・香織ご夫妻 |           |
| 62回 |      |       | 1        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 63回 |      |       | 1        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 64回 | 1    |       | 2        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 65回 | 3    |       | 2        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 66回 |      |       | 3        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 67回 | 1    | 2     | 5        | 0  | 1   | 0    | 0    |            |           |
| 68回 |      |       | 1        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 69回 | 1    |       | 1        | 0  | 2   | 0    | 0    |            |           |
| 70回 |      |       | 1        | 0  | 0   | 0    | 0    |            |           |
| 71回 | 2    | 1     | 1        | 1  | 0   | 1    | 1    | 二宮夢理       |           |
| 合計  | 79   | 16    | 64       | 35 | 67  | 12   | 34   | 9          | 6         |

(敬称略)

|              |       |
|--------------|-------|
| 総合計          | 159   |
| 電話所在確認運動の進捗率 | 100 % |



## サッカー部 22回卒50周年の集い

河野 博文 (大学 22 回)

旦野原の大分大学を巣立って早半世紀が経ち、サッカー部の同期(22回)の50周年と24回の古希祝の合同懇親会を5月23、24日に開催しました。

東京、大阪、福岡、大分各地から12名が参加しました。別府杉乃井ホテル宙館に集合、美味しい料理(鮎や城下カレイの薄作りetc)と美味しい酒(八鹿の源や耶馬美人他)と温泉を堪能しました。

40数年振りに逢った友もいて、思わず“あんた誰や?”との会話もありましたが直ぐに時空を越えて昔話に花を咲かせ楽しい時を過ごしました。

二次会はヒットパレードで1950年代のロカビリーを楽しみました。

翌日は別府の森ゴルフ倶楽部で由布岳を望みながら楽しくラウンドしました。

又数年後皆さん元気で会う約束をして解散しました。



## 同じ釜の飯仲間

—活力源となる36年振りの再会から始まった集いを大切にしてい—

吉田 恒彦 (大学 24 回)

2021年11月末、兵庫の自宅に戻って来た。2005年5月から勤務した第二の職場が、広島本社の会社なので、約16年間の長い広島生活。関西戻りを機に、再度、関西四極会の会員に復帰しました。

偶然にも、時を同じくして、2022年10月、関西四極会の会長に同期の和田君が就任。全体の四極会の会長も同期の三浦君であり、【我が同期生が会長になる、そんな年齢になったのか】と思っている次第です。

現在は、勤めていた会社の創業者一族の資産管理会社を手伝っており、月に2回程度、広島に出向く位でようやく、仕事の第一線から離れることが出来ました。

待ち望んでいた【のんびりと自由で気楽な生活】と思っていましたが、そうは問屋が卸しませんでした。コロナ禍が継続中であり、2022年は、旅行は回避。友人・知人との会食会合も開催されませんでした。漸く、コロナが5類感染症に移行した2023年5月から、色々な会合も復活してきましたが、今度は自分自身の体調が今一つで、70歳の年齢を本当に感じております。

日々の生活の中で、体力劣化を感じてる自分と向かい合っていますが、そんな時、元気にしてくれるのが、36年振りに再会した大学時代の下宿仲間との交流です。

大分市・福岡市・久留米市・川西市と全員、住まいはバラバラなので、普段は【グループライン】での会話を楽しみながら、年に1回は九州で(最近仲間の手持っている湯布院の別荘で)宿泊大宴会を実施。

何かと気付かされたり、驚かされたり、励まされたり、感心させられたりの連続で元気を貰ってます。

少々、長くなりますが、当時の生活・再会に至った経緯・現況の話をします。

大学時代は2階建てアパートの一室の生活。大学の西側にあたる旦野原地区で、敷戸簡易郵便局の道を奥まで上り詰めた山奥?のアパートです。大学が現在の場所に移転した昭和44年に建築された物件。移転前の旦野原地区は、近隣に賃貸アパートは無く、学生用アパートが必要との要請もあり、農業を営む大家さんが、自宅新築の際に、敷地内にアパートも建築。この地区の学生アパートの第一号であったと聞いております。でも、最初から、このアパートに住んだ訳でなく、当初は敷地内の、以前、大家さんが住んでいた一軒家の農家(隣に馬小屋併設)に、同じ経済学部1年生と3人での共同生活。この時、夕食は、近所に住んでいた経済学部の





友人2人も加えて、5人での自炊生活。所謂、【同じ釜の飯を食った仲間】です。料理係(何故か、1人だけ上手に料理が作れました)・買い出し係(単車を持っていた者と、もう1名が担当でしたが、買い出しに行ったきり、なかなか戻らない事もあり他のメンバーが怒り狂った事も…)・食後の食器洗い係2名……と自然に役割分担が出来ました。5人での共同自炊生活は非常に楽しく、和やかな乍、時には、喧嘩も発生。ある時、大喧嘩になり1人は雨の中、単車で走り去り(当然、飲酒運転です)、もう1人は行方不明。朝になって帰ってきて【何処にいたんだ!】と聞くと【馬小屋に馬と一緒に寝てた!】と。

そう言えば、服には馬小屋の藁がいっぱい付いていましたね。今考えると、役割分担も揉める事無く、笑いあり、涙ありの不思議な仲間との共同生活でした。

でも、2年生になるとアパートの部屋が空き共同生活解除。そこからは一人一人の生活スタイルに変更。

昭和51年に卒業後は、当然の事です、5人バラバラになり、適当に便りはするものの、一堂に会する事もなく、時が流れて行きました。

その後、ひよんなきっかけから(これを言うのと長すぎるので割愛します)、【全員で会おうよ】ということになり、2012年12月22日、別府温泉の【ホテル白菊】に5人が集合。36年振りの再会でしたが、一気に当時の学生時代の感覚に戻り、色んな話が出て、会話が弾み、それ以来、年に1回は全員集合するようになりました。



2012年12月

始めは5人でしたが、同じ旦野原の仲間(麻雀仲間)にも声を掛け、教育学部の仲間も入り10人に拡大。

各々の居住地域も、更に宇佐市・臼杵市・熊本の阿蘇郡小国町(新千円札の北里柴三郎の出身地)・愛媛の宇和島市が加わり地域拡大。それを契機に、2017年からは、毎年、仲間の所有する湯布院の別荘で集合。

まさに、【これからの人生の活力源】となる集まりです。

でも、8年間継続していた宿泊会合も、コロナ禍で、2019年を最後に、中断せざるを得ない事態発生。

会うことは叶わないものの、皆の声を聞きたい思いから、2022年6月、グループライン作成。

各自の日常生活の様子や、日々の思い・今の考え等々を気軽にのべるやり取りが始まりました。

そして、そろそろ集まっても良いのではないかとの声もあり、5年振りに実行しようという事になり、2024年6月24日で計画。湯布院の別荘での再会を楽しみにしてました。

ところが、5月30日にメンバーの一人から【今回は参加見合わせ。肺癌治療で6月4日から入院します】と連絡がありました。それほど悲壮感もなく、元気そうであり、直ぐに退院すると思っていた矢先、奥様から、本人が6月17日永眠したとの訃報連絡。大変なショックを受けた次第です。

現在は、他のメンバー同士で、引き続きグループラインを使いながら、亡き友の冥福を祈りつつ、お互いを励ましあっている今日この頃です。

(本文章が会報に掲載される時は、もっと元気になっていると思います。)

なにか、だらだらとした寄稿文で、申し訳ありません。一番言いたいことは、【大学時代の仲間は大切。それにつながる同窓会組織も大切。だから、関西四極会も大切です】という事。

古希を過ぎた年齢になり、大学時代の仲間は、お互いに、もう大きな利害関係もなく、会話が出来ます。

忌憚なく話をし、時に意見をぶつけながらも、結構シビアな指摘を受け、素直に受け入れたりも出来ます。感銘を受けたり、気付かされたり、友の活躍を聞き、自分も発奮したり……………。

皆さんも同じような集まりがあろうかと存じますが、四極会も忘れる事無く大切にしてください。



2018年6月



2024年6月



## 新たな環境で前向きに

黒川 勉 (大学24回)

### ①新たな居住地、新たな自宅

転勤を重ねる中で、会社の借上げ社宅住まいが続き、最後の六年間は住居が九州の社宅で勤務地は東京と九州を兼務し、忙しく働いていました。満65才月末に再雇用満了となり、暫くは、九州に留まりましたが、最終的には、子供達二人が居住し、私も二度勤務した関西に落ち着くことにし、甲子園浜に近い温泉・プール付きの現マンションを購入し、2019年5月から妻と暮らし始めました。

### ②新たな仕事(公務員の仕事)

退職後、もう少し仕事をしたいと思い、人生で初めて公務員の仕事に応募し、地域防災力向上アドバイザーとして採用され、66才より二年間、担当地域の安全向上に取組み、大学での演習にも参加し、防災士資格を取得できました。68才からは部門が変わり、マイナンバーカード部署で勤務を継続しています。今、公務員の仕事も五年目の半ばに突入しています。

### ③新たな地域の仲間との交わり

#### 1. 早朝笑いヨガの仲間

甲子園浜公園で毎朝、笑いヨガ+ラジオ体操を実施している方々に誘われて、西宮市に転居してすぐに夫婦で参加しています。

#### 2. 甲子園浜釣り仲間

甲子園浜でチヌ(黒鯛)釣りをしている昭和23年生まれ(私より5才上)の5名の「マウス会」に入れてもらって交流しています。

#### 3. マンションの定例催しに参加

20メートルプールでの「アクアスイミング」や「男のパン教室」に参加すると共に、マンションの夏祭り等のイベントにボランティアとして参加して親交を深めています。

### ④新たなスポーツに挑戦中

#### 1. ヨット(ディンギー)

芦屋市に兵庫県マリンセンターがあり、実技能力が認定されれば、ヨットをレンタルできるので、早速、講習・認定を受け、昨年よりヨットセイリングに励んでいます。

#### 2. クォーターテニス

テニスコートの四分の一の広さのコートで実施するテニスです。バドミントンとテニスを合わせた様な球技で西宮では盛んです。本年一月より本格的に参加。月に10回程の練習に参加しています。かなり激しい運動ですが、楽しんでます。

### ⑤新たに阪神タイガースの応援

西宮に移り住むと、回りはタイガースファンが絶対多数の環境でした。偶々、熱烈な阪神ファンや阪神タイガース応援団の役員と親しくなり、今では阪神の試合状況や活躍した選手の話等で盛り上がり、応援しています。



今年71才となり、後期高齢も近づいていますが、無理せず元気に前向きに過ごしていきたいと思っています。



## 長谷川支店長のこと

小野 正輝 (大学40回)

人生の転機と言えることが誰にでもあると思いますが、私にとって大きな転機は、人生の岐路にあった大学4年生の春、当時は住友銀行大分支店長、関西四極会の大先輩長谷川浩二さん(大学17回)との出会いです。もう30年以上前のことにはなりますが関西四極会とのご縁の始まりでもあり、暫くお付き合いいただければ幸いです。(長谷川さん、当時のまま長谷川支店長と呼ばさせていただきますが、どうかご容赦ください。)

私は昭和44年に、大分で生まれ、育ち、自分なりにそれなりに色々ありながら大分大学へ進みました。家庭環境もあって地元で生きていくのが当然と思

いながらも、井の中の蛙になりはしないか、そんなことも考えていた時期でした。当時は就職活動と言っても先輩をつかまえ、またつかまえられ話を聞く中、今東京でご活躍中ですが、在学中からお世話になった日高修さん(大学39回)との再会に始まり、藤澤仁さん(大学38回)、増山博道さん(大学34回)、佐藤浩己さん(大学33回)と、当時の住友銀行の素晴らしい先輩方とのご縁をいただきますが、未だ地元を離れる決心もなく、さあどうしようかと悩んでいました。そんな時、住友銀行大分支店長が水泳部の大先輩だと知らされ、私の人生は急展開します。それが長谷川支店長でした。

部の大先輩ですから、強引に「ウチに来い」と言われるのも半分覚悟していましたが、長谷川支店長はそ



んなことは一言もなく、ただ私が、自分は地元で就職をしたいと考えているが、住友銀行で就職するのはそれと何が違うのでしょうか、というような質問に対し、言われた言葉で私は決心しました。

#### ― プールで泳ぐのと海で泳ぐのとは、違うやろ? ―

毎日プールで死に物狂いで練習していた私はこれに完全に参りました。目の前の長谷川支店長に圧倒的に憧れ、自分も海で泳ぎたいと、飛び込む覚悟を固めた瞬間でした。

そしてその夜、食事をご馳走になった別れ際、仕事をしていく上で、どんな勉強をしておけばよいでしょうか、と意気込んでお聞きした私に対しての言葉も今でもはっきり覚えています。

#### ― 勉強も大事やが「好奇心」や ―

その時は随分遅い時間だったと記憶していますが、近くで騒いでた中高生くらいでしょうか、「あの子ら騒々しいな、やなくて、何でこんな時間に騒いでるんやろう?」とか、昔からあった古い本屋を過ぎながら「この店流行ってなさそうやな、やなくて、でも何で潰れないんやろう?」とか、「何でもないようなことを何でやろう?と考えるか考えへんかがえらい違いなんや、それだけ覚えとき。」と、学生の私にも分かるように、穏やかな口調で仰いました。とにかく憧れの長谷川支店長ですから、そんなもんかなあ、と思いながらも返事だけは元気に「分かりました!」と答えたことを覚えています。

決心してからが大変でした。両親の説得に始まり、絶対やめた方がいいという親切な友人からの忠告を自分なりに消化し、ゼミの先生はそれまで殆ど顔を出さずにいた私を追いかけるように何度も電話をくれ、君は本当に良いのか、と急に親身になってくれたりしました。当時多くの人がそこは大変だと想像する環境だったのでしょう。そしていざ飛び込むといきなり圧倒されました。当時住友銀行では400人以上が同期入行として、甲子園の研修所で1ヶ月間の宿泊研修を行うのが慣例でしたが、初日、隣の席は東大理学部物理学科卒でした。学生剣道日本一、大学野球でドラフト指名を受けたが断ってきた人、世界各国を数年間放浪し、この窮状を何とかできないかと真剣に語る人、大学院で建築工学を学んだが、この技術を金融で支えたいという人、どここの御曹司らしい等々、私の周囲にはこれまで一人もいない強烈な面々が私を待ち構えており、ここが確かに海である感覚をその時になって私は痛感したのです。研修を終え現場へ出ても、私の仕事の覚えが悪かったのでしょうか、強面の上司から「君は地元の一流っていうやつか?」ときかれ、そんなことはありませんと答えようとした私を遮って、愛の鞭だったのですが、「地元一流なんかより、全国三流の方がよっぽどマシや!」と喝を入れられました。泳ぎなれたプールでは溺れる心配などまずありませんが、海で泳ぐのはまるで違い、一から泳ぎ方を覚

えなければここでは溺れてしまうと感じ、それから幾度も、長谷川支店長の言う通りだと痛感することになります。私の憧れた言葉は戒めの言葉ともなったのでした。

平成期の銀行はご想像に難くないと思いますが、海は海でも大荒れの暴風雨ばかりの日々で、溺れかけたり、ただ何かに掴まって漂っているだけだったり、今思えば格好悪い泳ぎ方でした。しかし、何かと周囲から叩かれがちな環境の中でも、上司、同僚、仲間、後輩、多くの素晴らしい方々に出会い、励まされ、お客さまと仕事に恵まれ、鍛えられ今があります。晴れた日には素晴らし景色を見ることができ、これも地元大分出身の妻、長男、次男と家族にも恵まれ、安心して今でも仕事中心の慌ただしい日々を過ごしていることに、ただただ感謝する日々です。思い切って海に飛び込んで良かったと思います。最近思うのですが、関西四極会は私にとって、荒れた海の中ひょっこり現れる小島のようなものでしょうか、泳ぎ疲れて小島にあがると、そこには多くの諸先輩方がおられ、励まされ、また泳ぎ始める、そんな感覚です。まだまだ未熟者ですが、あれから30年以上、少しは頑張ってるな、くらいは言って貰えるだろうかと長谷川支店長にたまの会で近況を報告しますが、そのたび言われます。

#### ― 少しはピリッとせなあかねで ―

まだまだ追いつけそうにありません。

「好奇心」についても一言。仕事の上で、上司や周囲は私のことを冷静だと評してくれることがあります。(ただ単に「ノリが悪いヤツ」なのかもしれません。が・・・)もし、私が良い意味で冷静だとすれば、おそらくそれは、長谷川支店長の言う「何でやろう?」という思いがまず頭に思い浮かぶからに他ならず、そこから、ああではないか、こうではないか、と考えを巡らせたり、すると色んな事象が見えないところで繋がっていたり、どうでもいいと流さないことが、何度も仕事で窮地に立たされた私を救ってくれたようにも思え、私にとってとても大切な道標にもなっています。感謝しかありません。

もうひとつご紹介して最後にします。私の実家は分市上野にあります。かつて大学があり、今は「県立芸短」となっている場所から徒歩2、3分なのですが、子供の頃からそこは厳格な雰囲気があり、そう簡単に近づく場所ではありませんでした。最近、そこに高商時代の門が残されていると人伝に聞き、9月実家に帰省した折足を運んでみました。休日で、誰もおらず、静かな学内にひっそりと確







かに門だけが残されており、写真に収めることができました。少し分かりにくいかもしれませんが、石碑を見ますと、この校門はこれまで1万5千人近い学生を温かく見守ってきたと刻まれ、沿革には、昭和44年に大学

は旦の原に統合移転とあります。ああ、私の生まれた年かと思いながら、確か長谷川支店長のご卒業もこの年であったことにあらためて気づかされ、更に碑にはこの今の場所にこの校門を移転させたのが平成4年とありますが、この年は私が長谷川支店長に憧れ海へ飛び込んだその年。出会いにあらためて感謝し、**一少しはピリッとせなあかん**—と、背筋を伸ばしたのでした。

最近では総会、幹事会も欠席することも多く大変申し訳なくと思いますが、関西四極会の一員として、諸先輩方に少しでも近づけるよう、精進を続けたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

お付き合いいただき誠にありがとうございました。



## 大学時代の思い出



中澤 英孝 (大学 51 回)

私は大分大学経済学部にて3年次編入で入学しました。大学1年、2年はハワイの短期大学で勉強して、卒業が6月で日本に帰国したのが8月、大分大学の編入学試験が10月で、時期のタイミングがよいという理由だけで、人生で初めての大学に2001年から住み始めました。

私は3年からだったので、周りをみると、サークルなどで3年生はすでに和ができ、また就職活動などで、最初は、今から日本の大学生活をエンジョイしたい自分とは温度差があったと思います。その中で日本経済史の合田ゼミのメンバー、3年と4年生合わせて、5人でしたが、積極的に話しかけてくれたり、一緒に勉強したりと色々気にかけてくれました。

大学生活も少し慣れ始め2ヶ月ぐらい経ち、確か食堂でドイツの交換留学生に声をかけたのがきっかけだったと記憶しています。当時は英語も流暢だったこともあり、そのドイツ人学生から大分大学には留学生がたくさんいると聞いて、留学生との交流がはじまりました。

3年生のときは、ドイツからの交換留学生とブラジルから大学院に留学している日系ブラジル人大学院生とよく3人で放課後、図書館などで英語で話していました。その中でもブラジルのRogeriotとは今でも日

本にきたときは会うぐらいの友達になりました。そのRogeriotとの思い出は彼がはじめて僕をクラブに連れて行ってくれたことです。当時、踊るのが大好きな海外の人々が集まるクラブが都町にあり、よく週末は朝まで踊ったもんです。大学4年になると、留学生たちも母国に帰っていき、また新しい留学生が大分にきました。大学4年はイギリス人 オランダ人 3人でよく遊びました。大学4年のときは2002年日韓ワールドカップでたくさん海外から大分に人がきて、盛り上がりパーティをよくしました。私の大分時代は勉強ももちろんしましたが、国際交流とクラブで踊り明かすことが多かったです。就職に関しては卒業後資格をとって、就職しました。大分は人生で1番の青春を送った街です。



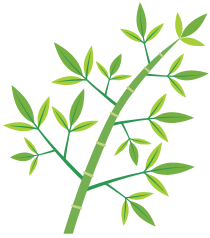
## 「私の学生時代」女子寮生活と北京留学

木崎亜由美 (大学 57 回)

今は夏になると35度を超える猛暑が当たり前になっていますが、私の大学生時代は2004年4月-2009年3月で、猛暑ではなく今よりはるかに過ごしやすい時期でした。女子寮生活と北京留学が今でも色濃く残

っています。

6畳の部屋に2人。机とベッドが2セットずつ。部屋にエアコンはなく、あったのは寒い時期に使うスチームでした。ベッドを平行に置くかL字に置くか悩んだものです。



今はもうありませんが、私は藤蔭寮(ふじかげりょう)の女子寮に住んでいました。寮の裏門には藤棚があり、またそばには竹林があり風が吹くとカチカチと涼しげな音がなっていました。寮から大学へと続く道は急な坂道で、下るときは転ばないようにと気をつけたものです。

寮生活は平日は朝昼晩の寮食があり、土日は自炊です。トイレやお風呂は共同で、月1回の早朝爆音で起こされる大掃除、ダンパ(ダンスパーティの略)、こんにちはコンパ(各階の寮生同士の親睦会)、寮の役員制度などいろいろ盛りだくさんでした。

当時は寮食、水道光熱費込みでありがたいことに月約3万円で生活ができていました。寮内で寮生とすれ違うたびに『こんにちは』と言う習わしでしたが、常に周りに誰かがいたので、1人でさみしいと感じることはなかったです。

また、学生のうちに留学することが夢だった私は、2007年8月-2008年7月の期間、中国北京にある对外経済貿易大学に留学しました。この時期は北京オリンピック前でした。鳥の巣も大学から近く、建設の様子も見ることができました。ほぼ話せない状態で飛び込

んだので、今から思えばよく挑戦したなと思います、ほんと。

中国人は全員寮生活で、アルバイトもせず勉学に励むと知り驚いたことを覚えています。ここでも寮生活で、2人1部屋でした。電気が切れた時にフロントで「我的房间没电了」が言えず。(電気はチャージ式で使うタイプでした)私はジェスチャーとチカチカブーの日本語で相手に伝えたのを覚えています。これが伝わったのが不思議です。そんなこんなで、なんとか生活を送っていましたが、仲良くなった韓国人の友達がいいます。その友達とは今でも交流があります。学生時代にできた友達縁はこれからも大切にしていきたいと思っています。



## 大学時代の思い出



葛原 美咲 (大学 57 回)

私にとって学生時代、特に大学時代は人との関わり方を学んだ大事な時期でした。

中学、高校でも先輩・後輩という人間関係はありましたが、中学高校時代よりも先輩・後輩の関係が強くなり、後輩でも年上であったり、学年は一つだけ上なのに、年齢は二つ、三つ上であったりいろんな人がいて最初はとても戸惑いました。

しかし大学では藤蔭寮で生活していた為、先輩・後輩という関係は私にとってとても重要なものでした。

寮ではこんにちはコンパというのがあり、各階ごとに談話室に集まりご飯やお菓子を食べながら親睦を深めるという行事がありました。

私が住んでいた階のコンパでは、料理を出すために、各部屋でお米を回収していましたが、まだ入寮したばかりだった為お米を持っておらず、同じ部屋の先輩が出してくれました。

私がお礼を言うと先輩は、「いいよ。美咲ちゃんが先輩になったら、自分が先輩にしてもらったことは必ず後輩にしてあげてね」と言われました。

当たり前の言葉ですが、当時の私にはとても心に響きましたし、これから寮だけでなくいろいろな人と関わっていくにあたってとても大切なことだと思いまし

た。

それからは、特に先輩だけではなく誰かにしてもらったことは、他の人にもするように心がけています。それがお世話になった先輩方への恩返しになると思っています。

寮生活は本当に大変でしたが、とても貴重な経験になりました。

寮で一緒に生活した方たちには感謝の気持ちでいっぱいです。





# 第4回 関西三経戦ゴルフ大会

幹事 河野 博文 (大学 22 回)

幹事 後藤 寛 (大学 27 回)

1. 日 時：2024年10月25日(金)
2. 場 所：関西クラシック G C
3. 参加者：加藤、安部亮、鍵本、野中、河野、大石、松尾、後藤、児玉、満見、佐藤浩、田崎(敬称略)

絶好のゴルフ日和の下第四回関西ゴルフ三経戦を関西クラシックGCで開催しました。

今回は関西四極会が当番幹事で平日開催でも有り27名と若干少ない参加でした。

山口鳳陽会7名、長崎瓊林会8名、大分四極会12名で母校の名誉をかけての激しい闘いで途中カート画面を睨み一喜一憂しながらも和気藹々楽しくプレーしました。

結果個人戦は長崎瓊林会の楢田氏がベスグロ77(38,39)、ネット73.4で優勝、2位がHCに恵まれた四極会の河野、3位が山口鳳陽会の安谷氏でした。

今回も加藤部会長から提供された八鹿酒造の銀座のすずめ7年、大吟醸清酒をはじめ有志から提供された景品を、5位迄の上位入賞者と5位毎の飛び賞者が賞金と副賞を獲得しました。又参加者全員にお菓子、カボス、ゴルフボールetcをお渡ししました。

又上位7人のネット合計で争った団体戦は四極会が533.2で二度目の優勝、鳳陽会が548.4で2位、瓊林会が561.6で3位でした。

四極会は圧倒的に人数で優位だった為上位7人のグロス合計でも1位で、個人成績ベストテン内で四極会が6人を占めたのが勝因でした。

関西四極会ゴルフ部会加藤部会長より25年前にOB会の活性化と総会の人数確保の為に懇親ゴルフ会をはじめた経緯のスピーチが有り、次期幹事の山口鳳陽会徳山事務局長から懇親会とゴルフ会の来年開催の旨のスピーチが有り再会を期して閉会しました。



## 第四回関西ゴルフ三経戦



2024.10.25 於 関西クラシックGC

## 三経戦懇親会報告

# 第2回 三大学合同懇親会

事務局 松尾 信 (大学 26 回)

1. 日 時：2024年9月27日(金) 18:30 ~ 20:30
2. 場 所：ニュートウキョー大阪第一生命ビル店
3. 当会参加者：和田、小川、大石、河野、辻、藤野、後藤、小俣、田崎、中澤、松尾(敬称略)

2024年9月27日(金)、JR大阪駅前のピアホール、ニュートウキョー大阪第一生命ビル店で長崎大瓊林会、山口大鳳陽会、大分大関西四極会(三経戦メンバー)の第二回三大学合同懇親会を開催しました。

当日は、自由民主党の新総裁に石破茂氏が決まり又MLB

ではドジャースが大谷の活躍で地区優勝を決めた日でもあります。

この懇親会は2019年に始めた関西ゴルフ三経戦の前夜祭として各同窓会の懇親の為昨年からはじめたもので、今回関西四極会の幹事で開催し長崎県、大分県の大阪事務所長を含め36人が集まりました。

尚、今回司会はモデル、タレント活動している四極会参加者中最若手の中澤英孝(大51)さんが務め好評を博しました。

和田会長のオープニングスピーチに始まり、フレット来夢のマンドリン演奏🎸は①サンタルチア②また君に恋



三大学集合写真



校歌斉唱

してる③ひまわりのテーマ④乾杯(全員で合唱)の4曲演奏で皆さん心が和みました。

大石名誉会長(大22)の乾杯の音頭で開宴し、瓊林会、鳳陽会の各代表の挨拶を頂きお互いの同窓会の維持発展の決意の言葉を述べられました。

美味しいアサヒ生ビール🍺を煽りスベアリブ、阿波鶏の唐揚げetcに舌鼓を打ち、和気藹々ワイワイガヤガヤと懇談しあつと言う間に2時間が過ぎました。

各校の校歌、逍遙歌を斉唱し河野副会長(大22)の“皆さんお疲れ生”の言葉で懇親会を締めくくりました。

各同窓会共に会員の高齢化、若手会員不足、セレモニーの参加者減少等の共通の悩みを抱えており、今後情報交換の場としても本懇親会を継続していきたいと思ひます。

## 囲碁部活動報告(2024.1~9月) 囲碁部幹事 小川 清一郎(大学15回)

今年度の計画は、年2回の囲碁大会の開催と長崎大(瓊林会)との交流戦の再開です。

### 1. 夏期囲碁大会

令和6年6月22日(第4土曜日)、夏季大会を実施しました。

参加者は5名と少人数になりましたが、一人4局打ちの総当たり対局で順位を決める初めての大会となりました。棋力、体力、気力を振り絞っての熱戦が繰り広げられ、結果は以下の通りとなりました。

<参加者(卒年順)>

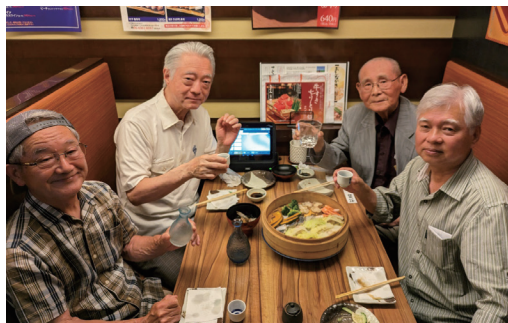
大村 龍興(大11)、村田 良一(大15)、小川清一郎(大15)  
古田 智則(大22)、和田 安生(大24)

<表彰>

1位: 村田 良一(大15回) 3勝1敗  
2位: 大村 龍興(大11回) 3勝1敗  
3位: 古田 智則(大22回) 2勝2敗

※大村さんと村田さんが勝敗同数で並びましたが、当会ルール(スイス方式に準ずる)により村田さんが上位となりました。

懇親会の場で年内の取組について討議、まず瓊林会との交流戦に的を絞って準備していくこととなりました。



### 2. 関西四極会・瓊林会との交流戦について

8~9月の幹事打合せの結果、概略が決定しましたので中間報告致します。

日時: 令和6年11月16日(第3土曜日)午後12時対局開始

参加者: 関西四極会 7名、瓊林会 7名

会場: 大阪梅田囲碁センター

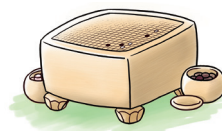
対局数: 一人3局

(注) 関西四極会と瓊林会の囲碁交流戦は2013年(平成25年)にスタートしました。

以後、2019年(平成31年)迄年1回、棋力向上と親睦を図り7年間続きました。

2020年のコロナインフルで中断、今年5年振りに対局が復活しました。

(筆者の願い: 双方の会員共に楽しい一日が過ごせますように!!)



## ゴルフ部活動報告



幹事 河野 博文(大学22回)  
幹事 後藤 寛(大学27回)

### 第49回 懇親ゴルフ会

<開催日> 2024年6月3日(月) <天 候> 晴れ

<場 所> 関西クラシックGC 清水→湯谷コース

<参加者> 13名(4組)

加藤 皓以(大11回)、安部 亮一(大11回)、  
小川清一郎(大15回)、宇都宮 護(大17回)、  
鍵本 明(大17回)、長谷川浩二(大17回)、  
野中 千尋(大21回)、大石 哲史(大22回)、  
河野 博文(大22回)、松尾 信(大26回)、  
小俣 秀記(大27回)、後藤 寛(大27回)、  
田崎 隆徳(大32回)





<成 績>

| 順 位  | お名前   | GROSS | HDCP | NET  |
|------|-------|-------|------|------|
| 優 勝  | 長谷川浩二 | 89    | 14.4 | 74.6 |
| 2 位  | 田崎 隆徳 | 101   | 25.2 | 75.8 |
| 3 位  | 加藤 皓以 | 99    | 22.8 | 76.2 |
| ベスグロ | 長谷川浩二 | 89    | —    | —    |

全米女子オープンゴルフで笹生優花、渋野日向子プロがワンツーフイニッシュの快挙をあげた6月3日、恒例の関西四極会の第49回ゴルフコンペを関西クラシックゴルフ倶楽部で開催しました。

快晴の絶好のゴルフ日和の下、13名の参加で熱戦が繰り広げられました。

今回は安部さんと長谷川さんの名手二人が終始グロスで熾烈なトップ争いをしモニター画面から目がはなせない展開でした。

前半の清水コースはピン位置奥が多く難しくショートパットも気が抜けませんでした。後半の湯谷コースは距離の長いミドルが多くロングヒッターの腕の見せ所でした。

結果は長谷川さんがベスグロ89で優勝、最若手の田崎さんが後半45の好スコアで2位、加藤さんがグロス99と健闘され3位でした。今回も加藤さんから焼酎、ウイスキー、ボールの寄付を頂き、全員が賞金、賞品を獲得して散会しました。

## 第50回 懇親ゴルフ会

<開催日> 2024年10月7日(月)

<天 候> 曇り一時雨

<場 所> 関西クラシックGC 清水→湯谷コース

<参加者> 10名(3組)

加藤 皓以(大11回)、安部 亮一(大11回)、宇都宮 護(大17回)、  
鍵本 明(大17回)、野中 千尋(大21回)、河野 博文(大22回)、  
松尾 信(大26回)、小俣 秀記(大27回)、後藤 寛(大27回)、  
田崎 隆徳(大32回)

<成 績>

| 順 位  | お名前   | GROSS | HDCP | NET  |
|------|-------|-------|------|------|
| 優 勝  | 安部 亮一 | 96    | 18.0 | 78.0 |
| 2 位  | 鍵本 明  | 105   | 26.4 | 78.6 |
| 3 位  | 小俣 秀記 | 96    | 16.8 | 79.2 |
| ベスグロ | 安部、小俣 | 96    | —    | —    |



25年前(1998年)にスタートした関西四極会懇親ゴルフ会は今回で50回を迎えました。

立ち上げ当時から当会の世話役をされ又永年景品提供して頂いた加藤部会長(大11)の功績を讃え、ささやかながら感謝状をお渡ししました。

生憎の雨模様となり、前半は曇り空、後半途中から雨となり終盤一時強い雨になったが直ぐに小雨になりプレーにはさほど支障はありませんでした。

今回は後藤さん(大27回)が好調で前半グロストップで折り返しましたが、後半実力者の安部さん(大11)と若手?の小俣(大27)さんが追い上げダブルペリアの結果優勝は安部さん、2位は鍵本さん(大17)、3位は小俣さんでした。

今回も加藤さんより大分玖珠の銘蔵八鹿酒造の高級焼酎銀座のすずめと大吟醸酒が提供されました。

又ニアピン賞は加藤、後藤、宇都宮、野中の各氏でした。

今回は10月25日に同関西クラシックで開催する第四回関西ゴルフ三経戦の練習ラウンドも兼ねて行い、団体戦での優勝を期して散会しました。



## 第50回関西四極会懇親ゴルフ会



2024.10.7 於 関西クラシックGC

# 「四極の風の会」活動報告

幹事 利光 征四郎 (大学 11 回)

## 第 48 回 散策会

### 伏見稲荷大社と藤森神社を結ぶ

### 「京都一周トレイル東山コース・伏見桃山ルート」 散策会

開催日：令和 6 年 6 月 14 日 参加人員：8 人

今回散策会は京都一周トレイルの一部をコースに選んで、アジサイが見頃の藤森(ふじのもり)神社参拝をセットしました。集合場所はおなじみの伏見稲荷大社、千本鳥居を登ったところにある奥之院奉拝所付近からトレイルに入り東山丘陵を下り、途中昼食休憩して藤森神社へ。参拝、アジサイ鑑賞の後当地で解散、歩行距離 約 8 キロ 歩行時間 約 3 時間を予定。

当日は梅雨入り前の晴天に恵まれたが、京都は全国一の高温に見舞われ(35.9℃)、暑さ対策を迫られることになる。

#### 伏見稲荷大社

集合場所は表参道入口、JR線で延着があり全員揃うのが10分程遅れる。コースの説明と熱さに備えて水分補給を徹底。



伏見稲荷大社 本殿 京都市伏見区

楼門を抜けて本殿へ。平日なのに大変な混雑でインバウンドの方が大半を占めている様子、観光都市京都の実情に驚く。

千本鳥居は登りと下りに道が別になっているが登りは大渋滞、立ち止まっての写真撮影が原因。焦っても前には進めず流れに合わせしかないがスピードは期待できない。ペースに合わせて奥之院奉拝所へ。落ち着いたところで集合写真撮る。



伏見稲荷大社  
奥宮奉拝所前にて

#### 京都一周トレイル・東山コース

やがて奥之院への参道と京都トレイルの合流点へ至る。道標はあるが見逃し易いので注意が要る。ここで右折してコースに入る。やや登りの道を進むと左に文学碑が目に入る。「竹之下道」の表示があり竹林の下側を通る古道で歌に詠まれた名所。手入れされた竹林を抜ける風を受けながら滝道へと進む。

道の右下に「弘法の滝」の表示あり。稲荷社の奥之院がある稲荷山から流れ落ちる沢筋に小さな滝が散在しており最初に出会うのがこの滝。流れは細く今は滝とは言えないが滝壺の周りに石碑や祠が密集し信仰心が凝縮して身が退き締まる雰囲気醸している。歴史の重みを感じる場所。続いて現れる「青木の滝」は

「弘法の滝」とあまり変わらない雰囲気。最後の「白菊の滝」は、突当りの分岐点を左に入ったところであり水量は多い。元の道に戻りなだらかな坂を下って行く。小鳥の鳴声を聞きながら果樹園、竹林、野菜畑などの間を縫って下り寺院の門前で休憩する。下り坂を快調に飛ばしたのでほぼ時間通りの進み具合に戻っていた。

#### 深草北陵(ふかくさのきたのみささぎ)

寺院(真宗院)前から西に入ってすぐ十二天皇の陵墓(十二天皇陵)に至る。一カ所に十二人の天皇を祀る墓所には驚いたが、鎌倉期～江戸初期に亘る持明院統(北朝系)の天皇墓が合葬されている。付近の寺院に葬られていた墓をまとめたもの。

#### (昼食休憩)

名神高速道に沿った西浦南公園が昼食予定地。

付近のコンビニで弁当、飲料を手配し公園内で昼食・休憩をとる。暑い中、大汗をかいいた体を休め、大樹の陰に依ってしばし歓談の時を過ごす。因みに、この公園は名神高速道の高速バス停留所(京都深草バス停)出入口周辺に設けられた細長く、かつ、広大な緑地で最寄り駅は京阪電車・藤森駅、徒歩10分弱ほど。手入れが行き届いているとは言えないが周辺に人家少なく食事・休憩に適した場所である。

#### 藤森神社のアジサイ

午後 1 時半過ぎに公園を出発、炎天下を藤森神社に向かう。車の通行が多く、信号、歩道歩行を守って 2 時過ぎに神社到着。当神社の由緒では創建は古く、5 月の菖蒲の節句には駄馬(かけうま)神事が催される。馬の守り神として競馬関係者(ファンも含めて)が参拝する。アジサイの名所として知られ、従来のアジサイの他に本殿裏手にも新しいアジサイ苑を育てている。翌日のアジサイ祭りを控えて、雨不足と炎暑続きで今一つ花に生気が感じられなかったのは残念だった。神社にも参拝して15時過ぎに神社正面鳥居前で解散とした。歩行時間約 3 時間、歩行距離約 8 キロ、炎天のもと事故もなく無事に終了することが出来た。尚、食事後の歓談中に幹事の高齢化に鑑み、会員の方から推薦を受けて大学十七回の鍵本明さんが後任幹事を受諾されました。現行の幹事としては大いに安心をしたところですが、新旧引継を含めて今後のことを相談し改めてご報告したいと思います。



藤森神社 本殿



藤森神社 アジサイ苑





## 近 況 報 告



|        |       |                                                                                                         |
|--------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大学 4 回 | 緒方 副人 | 高齢のため欠席いたします。益々の御発展をお祈りしています。                                                                           |
| 大学 4 回 | 野仲 一敏 | 高齢の為、残念乍ら出席できません。総会のご盛会と関西四極会の益々のご発展をお祈り致します。                                                           |
| 大学 8 回 | 大橋 伸吉 | 鴻図寮での親友が少なくなります。寂しいです。関西四極会の会報は楽しいです。感謝します。                                                             |
| 大学 9 回 | 橋本 彰  | 高齢になり、体調不良です。退会します。                                                                                     |
| 大学10回  | 梅本駿八郎 | 申し訳ありませんが、今年も欠席いたします。御盛会をお祈りします。                                                                        |
| 大学10回  | 吉田 吉則 | 当日都合悪く、今回は欠席します。                                                                                        |
| 大学12回  | 岩崎 正義 | 申し訳ありません。当日他用のため欠席します。                                                                                  |
| 大学12回  | 土屋 義方 | 御盛会を祈ります。                                                                                               |
| 大学12回  | 原 尚   | 都合により欠席させていただきます。総会の盛会をお祈り致します。                                                                         |
| 大学12回  | 松田洋三郎 | 乞われて、地域の老人会、公園維持活動などに精出しています。                                                                           |
| 大学13回  | 柴垣 俊三 | 高齢者になりましたが、何とか元気にやっています。(ひとり暮らしです)                                                                      |
| 大学13回  | 古賀 義人 | 都合により欠席しますが、若い方々でこれからも「関西四極会」を盛り上げて下さい。                                                                 |
| 大学14回  | 勝 知也  | 予定が重なり、失礼します。                                                                                           |
| 大学14回  | 川西 輝明 | 旅行の予定があり欠席します。                                                                                          |
| 大学14回  | 古賀 裕敏 | 今の所都合がつかませんので欠席させていただきます。皆様によりしくお伝え下さい。                                                                 |
| 大学15回  | 東 賢次  | 80才になりましたが、週2回ぼちぼちテニスを続けております。現在居住地の豊中市(人口40万人)の平和啓発事業で原爆や戦争の伝承にボランティアとして参加しております。四極会報での皆様の活躍に勇気づけられます。 |
| 大学15回  | 小川清一郎 | 電話呼び掛け運動でひとりでも多くの参加者が増えるといいですね…                                                                         |
| 大学17回  | 安藤 清  | 当日、先約があり、欠席致します。                                                                                        |
| 大学17回  | 田川 幸雄 | 欠席いたします。盛会を祈念。年明け早々地震、日航機事故等胸の痛むことばかりです。穏やかな日々を願います。                                                    |
| 大学17回  | 長谷川浩二 | 沢山の人が参加される事を希望します。三経戦ゴルフ、今年是一位を目指しましょう。                                                                 |
| 大学20回  | 児島 孝利 | あいにく、内野先生の米寿の祝いと重なっているため、出席できません。ご盛会を祈ります。                                                              |
| 大学20回  | 和田 誠  | 初めて出席させていただきます。同期の皆様、先輩の皆様に数十年振りにおあいできること、楽しみにしております。同期の津志田さんの文、たいへんつかしく、東京在住、大分在住の同期に転送しました。           |
| 大学21回  | 東 完夫  | 2020年1月より、日本語教師として活動。                                                                                   |
| 大学21回  | 井崎 賢二 | 毎年会報と総会での再会を楽しみにしています。役員の方々、ご苦労さまです。                                                                    |
| 大学21回  | 山崎 清太 | 都合つかず、欠席させていただきます。ご盛会を祈ります。                                                                             |
| 大学22回  | 泉 博二  | 毎年、幹事の皆様にはお世話になります。なつかしい方々とお会いできることとマンドリン演奏を楽しみにしています。                                                  |
| 大学22回  | 井上 龍生 | 当日キャンセルできない予定があり、欠席します。ご盛会を祈っています。                                                                      |
| 大学22回  | 今仁 正義 | 9年前に始めた四国お遍路ランですが、昨年77番札所まで到達し、今年の10月頃結願予定です。                                                           |
| 大学22回  | 河野 博文 | 100%制限の無い総会での宴会、旧友と楽しい時間を過ごしたいと思います。                                                                    |
| 大学23回  | 石橋 英行 | 申し訳ありません。欠席です。                                                                                          |
| 大学23回  | 工藤 俊彰 | いつもお断りしてすみません。盛会を祈念します。                                                                                 |
| 大学25回  | 三根 賢吾 | 家族との行事に重なり、欠席とさせていただきます。盛会を祈念致します。                                                                      |
| 大学29回  | 小野 輝彦 | 先約があり、失礼いたします。盛会を祈念いたします。                                                                               |
| 大学34回  | 大神 賢子 | 4月21日ですが、欠席させていただきます。よろしくお願い申し上げます。                                                                     |
| 大学37回  | 小原 貴子 | 総会へのお誘いの電話ありがとうございました。当日は、先約があり、行けません。すみません。次回は出席したいと思いますのでお誘い下さい。                                      |
| 大学44回  | 大川 源  | 家族の事情により欠席させていただきます。                                                                                    |

# 2024年度会費納入者名簿（敬称略）

2024年11月30日現在

| 氏 名   | 卒業    | 氏 名   | 卒業   | 氏 名   | 卒業   | 氏 名           | 卒業    |
|-------|-------|-------|------|-------|------|---------------|-------|
| 奈良定諄一 | 高商 19 | 橋本 永爾 | 大 15 | 山本 良一 | 大 21 | 山中 紀子         | 大 46  |
| 藤田 利男 | 経 24  | 東 賢次  | 大 15 | 吉村鉄太郎 | 大 21 | 中澤 英孝         | 大 51  |
| 緒方 副人 | 大 4   | 松本 英樹 | 大 15 | 濱崎 義人 | 大 21 | 前田 利章         | 大 51  |
| 高橋 前  | 大 4   | 村田 良一 | 大 15 | 泉 博二  | 大 22 | 木崎亜由美         | 大 57  |
| 野仲 一敏 | 大 4   | 山口 紘治 | 大 16 | 井上 龍生 | 大 22 | 葛原 美咲         | 大 57  |
| 児玉 一朗 | 大 6   | 畔津 俊郎 | 大 16 | 今仁 正義 | 大 22 | 山内 彩          | 大 57  |
| 山下 澄弘 | 大 6   | 加藤 剛  | 大 16 | 大石 哲史 | 大 22 | 宇都宮綾子         | 大 58  |
| 石尾 雄幸 | 大 7   | 山邊 幹生 | 大 16 | 河野 博文 | 大 22 | 高倉 慎平         | 大 61  |
| 大橋 伸吉 | 大 8   | 有馬 敏則 | 大 17 | 坂本 温  | 大 22 | 神足 敦也         | 大 71  |
| 浅野 信一 | 大 9   | 安藤 清  | 大 17 | 辻 次郎  | 大 22 | 二宮 夢理         | 大 71  |
| 小西敬一郎 | 大 9   | 宇都宮 護 | 大 17 | 藤野 敬三 | 大 22 |               |       |
| 坂本 哲男 | 大 9   | 鍵本 明  | 大 17 | 古田 智則 | 大 22 |               |       |
| 高田 利雄 | 大 9   | 清松 壮生 | 大 17 | 石橋 英行 | 大 23 |               |       |
| 橋本 彰  | 大 9   | 後藤 克己 | 大 17 | 神本 信正 | 大 23 |               |       |
| 森 信孝  | 大 9   | 坂本 直  | 大 17 | 栗崎 実  | 大 23 |               |       |
| 梅木騏八郎 | 大 10  | 田川 幸雄 | 大 17 | 平野 和彦 | 大 23 |               |       |
| 岡村 伸啓 | 大 10  | 時枝 信康 | 大 17 | 福田 誠  | 大 23 |               |       |
| 河江 智  | 大 10  | 野村 建  | 大 17 | 宮本 勝一 | 大 23 |               |       |
| 中山 克彌 | 大 10  | 長谷川浩二 | 大 17 | 工藤 俊彰 | 大 23 |               |       |
| 吉田 吉則 | 大 10  | 松尾 秀人 | 大 17 | 黒川 勉  | 大 24 |               |       |
| 安部 亮一 | 大 11  | 渡辺 靖夫 | 大 17 | 小玉 稔  | 大 24 |               |       |
| 大村 龍興 | 大 11  | 和田 正彦 | 大 17 | 吉田 恒彦 | 大 24 |               |       |
| 加藤 皓以 | 大 11  | 高橋 聰子 | 大 18 | 和田 安生 | 大 24 |               |       |
| 利光征四郎 | 大 11  | 羽矢 寧典 | 大 18 | 高野畑峯利 | 大 25 |               |       |
| 原 光伴  | 大 11  | 三谷 博  | 大 18 | 松本 均  | 大 25 |               |       |
| 湯浅 喬  | 大 11  | 矢野 眞治 | 大 18 | 三根 賢吾 | 大 25 |               |       |
| 安部 登  | 大 12  | 大谷 眞二 | 大 19 | 佐村 信哉 | 大 26 |               |       |
| 阿部 浩  | 大 12  | 志波 計介 | 大 19 | 松尾 信  | 大 26 |               |       |
| 岩崎 正義 | 大 12  | 田中 英一 | 大 19 | 水野 豊  | 大 26 |               |       |
| 内山 博之 | 大 12  | 真継 忠  | 大 19 | 小俣 秀記 | 大 27 |               |       |
| 武下 孝治 | 大 12  | 阿部 修  | 大 20 | 後藤 寛  | 大 27 |               |       |
| 土屋 義方 | 大 12  | 河内 正志 | 大 20 | 児玉 幸寿 | 大 28 |               |       |
| 原 尚   | 大 12  | 北村 保成 | 大 20 | 満見 毅  | 大 28 |               |       |
| 松田洋三郎 | 大 12  | 児島 孝利 | 大 20 | 小野 輝彦 | 大 29 |               |       |
| 三浦 英樹 | 大 12  | 津志田総穂 | 大 20 | 佐藤 敏明 | 大 30 |               |       |
| 長田 弘  | 大 12  | 中倉 義介 | 大 20 | 田崎 隆徳 | 大 32 |               |       |
| 木ノ下憲二 | 大 13  | 中島 正博 | 大 20 | 池田 浩  | 大 33 |               |       |
| 古賀 義人 | 大 13  | 野瀬俊一郎 | 大 20 | 佐藤 浩己 | 大 33 |               |       |
| 柴垣 俊三 | 大 13  | 原 国俊  | 大 20 | 西村 章  | 大 34 | < 2024 年度実績 > |       |
| 比嘉 賀昌 | 大 13  | 古野 美歳 | 大 20 | 増山 博道 | 大 34 |               |       |
| 山下 隆士 | 大 13  | 山岡 広和 | 大 20 | 山根 通宏 | 大 34 |               |       |
| 勝 知也  | 大 14  | 和田 誠  | 大 20 | 小原 貴子 | 大 37 |               |       |
| 川西 輝明 | 大 14  | 安部 正則 | 大 21 | 高田 美保 | 大 38 |               |       |
| 古賀 裕敏 | 大 14  | 井崎 賢二 | 大 21 | 坊垣 巖  | 大 39 |               |       |
| 堤 眞洋  | 大 14  | 甲斐 誠三 | 大 21 | 小野 正輝 | 大 40 |               |       |
| 東方 匡輔 | 大 15  | 河崎 照行 | 大 21 | 南草以久恵 | 大 40 |               |       |
| 小川清一郎 | 大 15  | 木村 政臣 | 大 21 | 前田 尚子 | 大 41 |               |       |
| 小野 仁彦 | 大 15  | 野中 千尋 | 大 21 | 小森 大  | 大 43 |               |       |
| 佐々木武男 | 大 15  | 東 完夫  | 大 21 | 吉岩 浩和 | 大 43 |               |       |
| 戸上 正士 | 大 15  | 山崎 清太 | 大 21 | 稲田 善彦 | 大 46 | 総 計           | 160 名 |

会費納入ありがとうございました。2025 年度もよろしくお願い致します。





粘着テープ・各種機能性フィルムの打抜加工・販売

取締役会長 **加藤 皓以** (大学 11 回)

## 株式会社 カトー精工

<本社> 〒566-0045 大阪府摂津市南別府町8番40号  
TEL.06-6349-9120(代) FAX.06-6349-9121

<国内> 相模原事業所・東海事業所・福岡事業所・仙台営業所

<中国> 天津加藤精密電子有限公司・東莞加藤精密電子有限公司・蘇州加藤精密電子有限公司

<香港> 香港加藤精電公司

## Fukuhara

一般区域貨物運送事業  
機械器具設置業・鳶土工業

代表取締役 **水 野 豊**  
大学26回 和田ゼミ 軟庭



## 福原運輸株式会社

〒556-0022 大阪市浪速区桜川2丁目11番31号  
TEL(06)6562-7377 FAX(06)6561-5693



関西四極会報も本号で第29号の発刊となりましたが、ご寄稿頂きました皆様には心から厚く御礼申し上げます。  
今年度の年次総会は、4月21日(日)に70名(内来賓・ゲスト8名)のご参加を頂き盛大に開催することができました。特筆すべきことは、参加人数も久々に70名となったこと及び女性会員の参加者が一挙に7名(昨年までは2名参加)に増えた事です。

これは昨年からはじめた「電話による声かけ運動」での継続的なコンタクト及び若手懇親会を開催する等、地道な活動の成果が現れたのではないかと考えております。

来年以降も、会員皆様の多数のご参加をお待ちしております。

今後も継続的な活動を行って参りますが、引き続き会員各位のご支援・ご指導を頂きます様宜しくお願い申し上げます。

(大学26回 松尾 信)



<http://www.kansai-shiwasukai.club/>

